
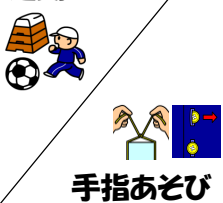



















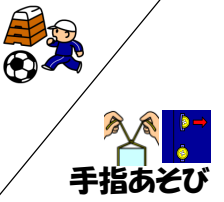





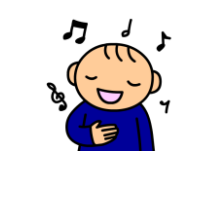


★活動★

月	火	水	木	金	土
	1 運動あそび 	2 音楽あそび 	3 制作あそび (ひなまつり)  持ち物: スモック	4 感触あそび  持ち物: スモック	5 屋外あそび  持ち物: 帽子
7 課題あそび 	8 みつばちプロジェクト 	9 運動あそび  手指あそび	10 屋外あそび  持ち物: 帽子	11 絵画あそび  持ち物: スモック	12 感触あそび  持ち物: スモック
14 感触あそび  持ち物: スモック	15 課題あそび 	16 運動あそび 	17 絵画あそび  持ち物: スモック	18 屋外あそび  持ち物: 帽子	19 運動あそび 
21 春分の日 	22 屋外あそび  持ち物: 帽子	23 課題あそび 	24 運動あそび  手指あそび	25 避難訓練(火災) 運動あそび 	26 絵画あそび  持ち物: スモック
28 屋外あそび  持ち物: 帽子	29 運動あそび 	30 屋外あそび  持ち物: 帽子	31 音楽あそび 	<p>専門職のセルク来所日 公認心理師 1日(火)、2日(水)、4日(金)、5日(土) 7日(月)、8日(火)、9日(水)、10日(木) 言語聴覚士 15日(火)、16日(水)、17日(木) 18日(金)、19日(土)、22日(月) 23日(水)、24日(木)、25日(金) 理学療法士 28日(月)、30日(水)、31日(木)</p>	

感触あそび

片栗粉を直接手で触ったり、道具を使ったりして、片栗粉特有の不思議な感触を楽しみます。

みつばちプロジェクト

3月8日(みつばちの日)にちなんで、マルヤガーデンにて、養蜂家にお越しいただき、みつばちについての話を聞き、巣箱の見学を行います。

園外療育について

年間事業計画にて3月に園外療育が予定されておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、中止することとなりました。それに伴い、屋外あそびを通して、友だちと一緒に遊ぶことや、身体を動かす楽しさを感じる経験ができるようにしていきたいと思っております。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



～ コロナに負けない！！ ～



梅の花が、控えめに「もうすぐ春ですよ。」と告げてくれるようになりました。

コロナ禍の不安な気持ちをなぐさめてくれているように感じるのは私だけでしょうか。

新型コロナウイルスの感染が確認されてから2年近くの時間が経とうとしています。コロナウイルスに感染し、タレントの志村けんさんや岡江久美子さんが亡くなられたことは、日本中がショックと恐怖で縮み上がり、コロナが身近に迫ってきたことを実感した出来事でもありました。

日々、子どもたちと接していると、コロナウイルスの感染はもちろんですが、私が最も心配なのは子どもたちの成長や心身への影響です。「三密(密閉・密集・密接)を避ける」事が当たり前となり、子どもたちは感染をしないために多くの制限を受けることになりました。

また、最も楽しい時間である食事中も「黙食」が日常的となり、黙って黙々と食事をする事が定着しつつあります。先日テレビのインタビューに答えていた他県の幼稚園の園長は、食事をする机に透明なボードが前後左右に設置されている映像を背景に「うちでは、子どもたちの食事中の黙食を徹底しています」と得意げに話していました。現在の、コロナウイルス感染拡大状況を考えれば仕方がないことだという事は重々理解できますが、それを誇らしげにアピールすることについては違和感を覚えます。なぜなら、そのことが子どもたちの成長や心身の発達にどれほど多くの悪影響があるかという事を考えてしまうからです。

子どもたちは、人とのかかわりの中で多くの事を学んでいきます。感染リスクから子どもたちを守るための多くの制限の中で、何かできることはないか、感染対策をしながらも、子どもたちとよりコミュニケーションを積極的にとる楽しい方法はないかと考えていきたいですね。そして何より、「黙食」は本来の姿ではない事、子どもたちの生活に「制限」がある事も本来ならば子どもたちの成長・発達にはあってはならない事であるという本質を理解しながら、子どもたちの心のケアも行っていきたいと考えています。

コロナ感染拡大により、「人との関係」がどんどん希薄になっていくことの恐ろしさを、「コロナだから仕方がない」とすべてをあきらめるのではなく、子どもたちのより良い成長のために感染対策をしっかりと行った上で、コロナが逃げ出すような工夫を行い「コロナに負けない」よう人とのかかわりを大切にしていきたいですね。



【児童通所部門 園長 水流かおる】

(公認心理師・社会福祉士)

今年度も、たくさんのご理解とご協力に感謝いたします。



★おしらせとおねがい★

① おやつ代と実績記録表について

毎月中旬に前月分のおやつ代の請求書と実績記録表をお渡しさせていただきますので、セルクに来所された際に職員に直接手渡しして頂ければと思います。また、請求書に同封しております実績記録表を確認して頂き、保護者確認欄に捺印(欠席の記録の箇所にも捺印をお願い致します。)のうえ、こちらも職員に直接手渡しして頂ければと思います。不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。よろしくお願ひ致します。

② 専門職の勤務について

コロナ感染拡大状況を考慮し、事業所間の往來を極力控えることに致します。今後につきましては、状況を見ながら対応させていただきますのでご了承ください。